～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日　令和５年12月15日＜第１号＞
発行元　東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電　話　０３－５８０２－０３１８
ホームページ　https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/10jidai/yosei/index.html

入塾式

塾長式辞

入塾生代表の言葉

令和５年 11 月５日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第 21 期東京教師養成塾入塾式を挙行しました。東京教師養成塾の連携大学の学生である第 21 期養成塾生 46 人が、これから始まる養成塾の講座や特別教育実習に大きな希望を抱き、緊張した表情で入塾式に臨みました。

当日は、東京教師養成塾の塾長である東京都教職員研修センター　藤井　大輔所長から、「養成塾の担当教授の指導の下、様々な塾生と交流を深めながら学んでいく過程は、東京教師養成塾の大きな特色であり、皆さんの成長を後押しすることとなることでしょう。これから始まる養成塾での学びを通して、皆さんが、「東京都の教育に求められる教師」としての素地を身に付けていくことを心から願っています。」と激励がありました。

また、塾生代表から「時には、悩み、迷い、立ち止まってしまうことがあると思います。しかし、どのようなときでも、この養成塾での貴重な経験や出会いに感謝し、共に支え合い、共に学び合いながら、常に学び続ける姿勢を忘れることなく、理想の教師像を目指して歩んでいきます。」と、決意の言葉がありました。

今後、第 21 期養成塾生は、27 区市立小学校等 40 校、都立特別支援学校６校の教師養成指定校における特別教育実習や講座を通して、教師としての使命感や実践的な指導力、柔軟な対応力等を身に付けていきます。

●第１回教科等指導力養成講座

令和５年 11 月 19 日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第１回教科等指導力養成講座を実施しました。大久保主任指導主事からは、「教科等指導力養成講座と特別教育実習の往還を通して、実践的な指導力や対応力を身に付けてほしい。」との話がありました。

「東京教師養成塾生としての心構え」

【小学校コース及び特別支援コースの講座】

○　「東京教師養成塾生としての心構え」

栗原研修部長から、「高度な専門職」である教師、養成塾生として学んでほしいことについての話がありました。また、「彩り溢れた高度な専門職である教師になるために必要な資質を確実に伸ばしていきましょう。」という塾生へのメッセージがありました。

「接遇・コミュニケーション」

○　「接遇・コミュニケーション」

特別教育実習で求められる社会人としての心構えやマナー、身だしなみについて講義を受けました。塾生は、演習を通して表情が与えるコミュニケーションへの影響について考えることができました。

「児童・生徒理解」

○　「児童・生徒理解」

東京教師養成塾教授から、児童・生徒理解についての講義・演習がありました。班ごとの協議では、教師役と子供役に分かれたロールプレイを行い、児童・生徒理解を深めるための心構えや信頼関係の築き方を学ぶことができました。

○　「一人１台端末を用いた授業をするための準備をしよう」

教育開発課 須藤指導主事から、一人１台端末の活用についての講義・演習がありました。一人１台の学習者用端末を活用した授業についての演習を通して、一度に大勢の意見を見るための操作方法などを具体的に学びました。

「一人一台端末を用いた授業をするための準備をしよう」

◆塾生の感想から

○　自分が教壇に立った際には、子供のよいところを見つめ、広い視野で価値付けをしていきたい。また児童・生徒に寄り添い、共に考えていくという姿勢を大切にしたい。

●第２回教科等指導力養成講座

令和５年 12 月３日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第二回教科等指導力養成講座を実施しました。大久保主任指導主事からは、互いに挨拶を交わす塾生の姿を見て、「温かな人間関係を築く素地が身に付いている。」とのお話がありました。

「授業づくりの基本」

【小学校コースの講座】

○　「授業づくりの基本」

「個別最適な学び」、「主体的、対話的で深い学び」等、授業づくりの基本について学びました。算数科の求積問題を例に、事前に考えた教師の支援例について、交流を深めることで、塾生自身が協働的な学びの価値を体感していました。

「道徳科」

○　「道徳科」

１単位時間における「中心発問」と「振り返りの発問」の考え方について学びました。講座を通して学んだ「ねらいとする道徳的価値に関する児童の考えを引き出すための手だて」について、少人数グループで考えを深めることができました。

「東京都の施策」

【特別支援学校コースの講座】

○　「東京都の施策」

特別支援教育の理念について資料を基に確認し、「東京都特別支援教育推進計画」を基に、東京都を取り巻く状況の変化や障害種別ごとの特別支援教育の充実に向けたポイントなどを学びました。今後行う特別教育実習について見通しをもつことができました。

「障害種別と教育課程」

○　「障害種別と教育課程」

教育課程がどのように編成されているかを理解することで、特別支援教育の概要について理解を深めました。学習指導要領上の記載を基に指導の重点について知り、特別支援学校の仕組みについて知ることができました。

【体験型の講座】

○　「地域の文化財を生かした社会科の授業づくり」（小学校コース）

地域文化財の教材化について理解を深めるため、史跡や博物館を活用した授業づくりについて学びました。玉川上水を教材とした学習指導案づくりに関して小学校の先生方から具体的にアドバイスをいただきながら、社会科の授業づくりの基礎を学びました。

○　「地域の教材を生かした生活単元学習の授業づくり」（特別支援学校コース）

校外における生活単元学習を行う際の留意点について学びました。児童・生徒の特性に応じた指導を行うための具体的な配慮事項について、実地踏査の経験を踏まえて議論を行いました。議論を重ねる中で、児童の実態に応じて想定される課題や問題点を意識しながら、指導の実際について検討することができました。

◆塾生の感想から

○　算数科や道徳科の学習指導案づくりを通して、塾生同士が協働的な学びをすることで、多様な意見に触れ、それを基に自分の考えを深めることができるので、深い学びにつながることが分かった。

○　実際に跡地や博物館を見学するといった活動により、想像がしやすく体験的に学ぶことができて良かった。

○　東京の施策の話を聞き、重度・重複障害のある児童でも何らかの形で社会に貢献・参加出来るよう、私たち教員が考えていかなくてはいけないと思った。

地域の文化財を生かした社会科の授業づくり
地域の教材を生かした生活単元学習の授業づくり